

「中谷小学校の奴踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	曾於市立中谷小学校
2. 学年・人数	1年生から6年生(約20人) ※中谷小学校卒業生の中学生有志
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年10月毎週土曜, 1～3月毎週土曜 中谷小学校体育館 (2) 発表の日時・場所 令和6年4月7日(日) 溝ノ口洞穴祭 溝ノ口洞穴 令和6年11月10日(日) 曾於市民祭 栄楽公園グラウンド
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能, 伝統行事, 伝統工芸品について	(1) 名 称 曾於市指定無形民俗文化財 中谷の奴踊り(なかつたにのやっこおどり) (2) 由 来 踊りの構成も様々で由来や開始期は定かでない。昔は溝ノ口集落の女児だけで踊っていたが, 子供の減少につれ男児も加わり, やがて小学校区全体で取り組むようになったという。現在は一部卒業生も協力している。 (3) 構成等 色鮮やかな衣装を身に纏い, 鉢巻をし, 鼻に白い縦筋のある独特の化粧をした男女が扇子を持って一団となって踊る。踊りは戦いにちなんだ動き, 数え歌, 嫁に行くまでを表現したものなど数曲で構成されている。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	中谷小学校全児童が踊り手となってきた頃から子ども会育成会(小学校の全保護者で構成)も, 練習や行事の参加・運営に協力している。 また, 洞穴祭を見に行けない住民もいることから, 洞穴祭に先立って小学校の校庭で踊り, 洞穴祭終了後に各集落で行われる「春祈念」でも踊るなど, 広く校区の住民にもその取組をアピールして保存の気運を高めている。
6. 取組の様子(練習状況, 発表の場等)	保存会と育成会が連携して, 学校開放の形で夜間に練習をしている。また, 練習用のDVDを作成し, 家でも練習できるようにしている。伝承者が高齢になってきたため, 踊った経験のある地元の女性に踊りの指導を依頼し, 毎年指導に当たっていただいている。   【溝ノ口洞穴前で奴踊り披露】 【曾於市民祭で奴踊り披露】
7. 感想・意見(参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	【児童】 ・大勢の前で踊るのはとても緊張するけれど, 練習のとおりうまく踊れてよかった。もっと練習してうまくなり, 先輩方が引き継いできた奴踊りをしっかりと引き継いでいきたい。 【保護者】 ・パワースポットとして注目されている洞穴で, 自分の子供たちが注目を浴びて活躍している姿は誇らしいし, 子供たちの自信にもつながると思う。